



## 歳末にあたっての御挨拶 トンチの一休さんの言葉



トンチで有名な一休さんが臨終の時、侍者に玉手箱のような立派な箱を持って来させ、一山の長老たちを前にこう言いました。この遺言状は本堂の仏壇に納め、今後、一山興亡の一大事が生じた時、開けて読むが良いと。それから何十年かが経ち、大徳寺の浮枕に関わる大問題が起きました。その時誰かが一休さんの遺言状を思い出し、箱を開けてみました。そこには「成るように成る、心配するな」と書かれていました。

混迷する社会の中で、自分の立ち位置を確認するのがとても大変になりました。社会の制度や仕組みが矢継ぎ早に変化し、複雑多岐になっています。この先どうなるのやらと思っている時は、一休さんのこの話を思い出して下さい。世の中は結局成るように成るのだと思っ



ていたら、とても気が楽になるではありませんか。新年を迎え、今年こそはと色々おもいがちですが、気を楽しんで、成るように成るを合言葉に前へ進んでいきたいものです。ありがたいの感謝の気持ちと、出来ることからする。そして「成るように成る、心配するな」